

# 防災分野の戦略的な国際展開を見据えた調査研究事業

担当府省庁：外務省

(事業費：12.1百万円、対象事業：連携事業、事業実施期間：R8)

連携先：内閣府、文部科学省、  
大学・研究機関、自治体

## 事業の目的

日本が強みを持つ「防災」分野を戦略的に海外展開していくため、展開の方策等を産官学で調査・検討し、日本の防災産業の需要拡大、防災分野の学術的な国際貢献、自治体を持つ防災ノウハウの普及など、事前防災に資する取組展開を図ります。

## 事業の内容

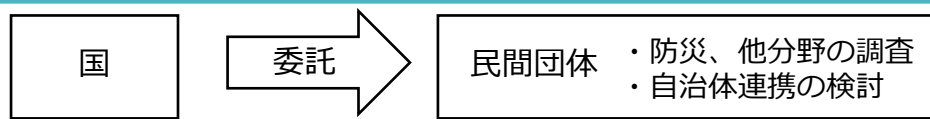
### <現状・課題>

- 世界各国で、災害は激甚化・頻発化しており、世界において防災が一つの重要な施策となりつつある一方で、防災に対する投資は進んでおらず、日本企業が海外展開するにあたって、事前防災に対する需要が小さいところです。
- 今後、2030年以降のポストSDGsのアジェンダ設定が予定されている中で、事前防災への投資を更に押し上げ、日本の防災産業の需要を拡大させるためには、「防災」が重要なテーマの一つとして位置づけられるよう、他国の課題や日本が持つ防災の強み等を整理し、国際的に打ち出していく必要があります。

### <取組内容>

- 防災分野の戦略的な国際展開を見据え、関係省庁、大学・研究機関、自治体との連携のもと、「防災」が国際的に重要なテーマの1つとなるよう、ポストSDGsのアジェンダ設定に向けた具体的な内容の合意形成や海外展開に向けた実効的なアプローチの検討を実施します。
- 取組にあたっては、数カ国程度の防災に関わるニーズ等の調査・分析や、国内の自治体が有する先進的な防災知見の実践例の抽出、それらを国際アジェンダに盛り込む方策、海外の都市又は国際機関との具体的な連携方策の検討を行います。

## 事業のスキーム



## 実施イメージ・具体例

### 防災分野の戦略的な国際展開を見据えた調査研究事業

#### <体制>

外務省



内閣府・文科省・  
関心のある大学・  
研究機関・自治体

#### <実施の流れ>

数カ国程度の  
調査・分析

大学・研究機関・  
自治体等からの意見聴取

成果の  
とりまとめ

ポストSDGsのアジェンダ設定に向けた打ち出し

事前防災への  
投資拡大により、  
日本のプレゼンスが向上

国際社会に  
おける  
防災産業の  
活性化

防災分野の  
学術的な  
国際貢献

自治体が  
持つ  
防災ノウハウの  
展開促進

## 事業により得られる効果（アウトカム）

- 日本が強みを持つ防災分野の海外展開方策を整理調査・検討することで、防災分野についての国際的な議論を日本がリードする方針を立案でき、「事前防災」の考えを国外へアプローチすることが可能であり、日本のプレゼンス向上につながります。
- これにより、海外における防災産業の活性化のほか、防災分野における大学・研究機関の国際的な活動の推進、自治体を持つ防災分野の知見の普及や海外都市との連携など、我が国を含めた国際社会における事前防災が進みます。